

かけはし

学校と家庭とを結ぶ学年通信

明石市立江井島中学校 第2学年

～ 合言葉は「みんなでみんなを！」～

2020年 10月7日NO. 32

日々の地味な活動がクラス・学年を動かす！

市内新人総体が終わり、中間テストが終了した今週。気分的にホッとしていることでしょう。元気のいい声、教室や廊下で歓談しながらのたくさんの笑顔が見られ和やかなムードが流れています。一方で、教室や廊下の端々に「いいかげんさ」を感じる残念な場面が見られます。

係や日直の仕事を、責任をもってやりきれていますか？

前任校でお世話になった校長先生の『学校通信』に、今の43回生にぴったりの記事が掲載されていたので内容をお借りして紹介します。

8月20日付神戸新聞に稲美町の14歳の中学生が投稿した記事を紹介します。

『最近のトイレは、開く、流す、閉まるまで自動でしてくれます。家庭にも増えてきて、新1年生には学校で「トイレは終わったら流す」というところから教えるそうです。そんな便利な「自動的」にしてくれる機械が身近な世の中ですが、学校内はそうではありません。黒板を消すにしても、廊下を拭くにしても、トイレのスリッパをそろえるにしても。常に誰かが動いていないと学校生活は過ごせないのです。例えば体育祭や音楽コンクールを思い出してみてください。準備から片付けまでスムーズにプログラムが進行できるのは、決められた役割を一人ずつが果たしているからです。

学校は「自動的」なことが何一つありません。ですが不便とは思わないのです。その訳は、自分の役目を果たし、次にどう動くべきか皆が考えているからです。この力はインターネット内では身に付けられない、まさに学校に通う価値だと思います。』

どう思いますか？

今の世の中はデジタル化が進み、スイッチ一つで用が足りることが多くなりました。

しかし、いつでもどんな場所でも「デジタル任せ」というわけにはいきません。

やはり、基本は「人の手」つまり、まだまだ「アナログ」で動くことはたくさんあります。

まさに学校という場は、日々地味ではあるけれども一人ずつに割り当てられた仕事によって動いています。今一度自分の仕事を確認し、しっかりと働いていきましょう。

明石市新人体育大会 全日程終了！

陸上競技部の市内大会をもって、新人総体の全日程が無事終了しました。（陸上部は、東播大会から始まり県大会そして市内大会という変則的な大会の流れでした。）

以前にも書きましたが、この大会が実施されたことは当たり前ではないこと、陰で多くの人たちが支えてくれていることを忘れず、これからの練習や大会に励んでいってください。

陸上競技部

共通男子200M 第2位

共通男子400M 第5位

共通男子砲丸投げ 第5位

2年生男子100M第3位

2年男子3000M第7位

共通女子200M 第2位

共通女子走高跳び 第6位

2年生女子100M第6位



学校生活も部活も

初心忘るべからず